

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施する。

* 競技用シューズについて、競技規則TR5.2は適用しない。

* 混合リレーの走順について、競技規則TR24.11は適用しない。

2 練習について

(1) 練習は、サブトラックを使用すること。ただし、練習器具の持ち込みは一切禁止とする。

また、80mハードルとジャベリックボール投の練習は禁止とする。

(2) フィールド競技の練習は、招集後競技場内で競技役員の指示に従い行うこと。

(3) 練習は、「事故防止」に万全を期すること。また、荷物などは個人が責任を持ち管理すること。

3 招集について

(1) トラック競技は、100mスタート側ゲート付近競技場外側で招集を行う。

フィールド競技は、雨天練習場で招集を行う。(指導者の立ち入りは禁止する)

(2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照すること。

(種目によって招集時間が違うのでよく確認しておくこと)

(3) 招集の手順

① 招集開始時刻に招集場所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピン(走高跳は12mm以内、その他は9mm以内)等の点検を受ける。この時に点呼に応じない者や招集完了時刻に遅れた者は、棄権とみなし処理する。

② トラック種目については、競技者係で写真判定用の腰ナンバーカードを渡すので、右腰に貼付し競技に出場する。競技終了後、係の指示に従って返却すること。

③ 点呼の代理人は認めない。ただし2種目同時に出場する競技者は、1種目めの招集前にその旨を本人が競技者係に申し出て、事前に2種目めの招集を受けなければならない。(2種目同時届)

④ 競技を欠場するものは、欠場届を庶務係(Cゲート学校受付)に提出すること。(欠場届)

※2種目同時届と欠場届は、庶務係に用意してある。

4 競技について

(1) トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。

(2) 100m・80mハードル・4×100mは、クラウチングスタートを原則とする。また、決められたレーンを走る。

(3) キッズチャレンジ50mは、スタンディングスタートで実施する。また、決められたレーンを走る。

(4) スターティングブロックの使用は、100m・80mハードル・4×100mの決勝(希望する者)のみとする。

(5) トラック競技の予選はタイムレースで行う。予選の結果、決勝への出場資格者は場内アナウンスで発表する。ただし、800m・1500mはタイムレース決勝で行う。

(6) リレー競走におけるテイクオーバーゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。

テイクオーバーゾーン外から走り出すことはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。

(7) リレー競走に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全選手ともデザイン配色が同一とする。ただし、混合リレーについては男女による型の違いは認めるものとする。

(8) 競技結果については、場内アナウンスおよびスクリーンで発表する。

なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点をも、正式発表とする。

リレーオーダー用紙について、予選・決勝(オーダー変更の有無にかかわらず)とも下記の時間内に庶務係へ提出すること。[予選・決勝オーダー用紙は、庶務係(Cゲート学校受付)へ取りに行くこと]

低学年 男子・女子リレー	予選	7時30分～8時30分
共 通 男子・女子リレー	予選	各1組招集完了時刻2時間前から1時間前
混 合 リレー	予選	各1組招集完了時刻2時間前から1時間前
混合、共通、低学年リレー	決勝	各種目招集完了時刻1時間前から40分前

オーダー用紙配布について
予選 学校受付時に配布
決勝 庶務係にて配布

- (9) トラック競技における決勝への進出については、その最下位で同タイム(1/100秒単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。
- ① レーンに余裕がある場合………同タイム(1/1000秒単位)の選手の進出を認める。
 - ② レーンに余裕がない場合………本人または代理人により抽選する。
- (10) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを超え、マットへの着地は足裏からとする。背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。
- (11) 走高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。なお、1位を決定するためのバーの上げ下げは2cmとする。なお、当日の状況を見て標準記録を下げる場合がある。

5 年 男 子	1.00(練) 1.05－1.10－1.15－1.20－1.25……以降3cmきざみ
6 年 男 子	1.05(練) 1.10－1.15－1.20－1.25－1.30……以降3cmきざみ
5 年 女 子	1.00(練) 1.00－1.05－1.10－1.15－1.20……以降3cmきざみ
6 年 女 子	1.00(練) 1.05－1.10－1.15－1.20－1.25……以降3cmきざみ

- (12) 走幅跳・ジャベリックボール投の標準記録は次の通りとする。
 なお、当日の状況を見て標準記録を下げる場合がある。

	5 年 女 子	6 年 女 子	5 年 男 子	6 年 男 子
走 幅 跳	2 m 8 0	3 m 0 0	3 m 0 0	3 m 2 0
ジャベリックボール投	2 0 m	2 5 m	2 5 m	3 0 m

- (13) ジャベリックボール投はジャベボールを使用し、やり投げのピットで実施する。
 なお、助走距離は15m以内とする。(投てき角度もやり投と同様とする)
- (14) ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。

5 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) リレーのマーカー(養生テープ：大きさ最大50mm×400mmで1カ所使用)は各チームで用意する。
- (3) 走高跳のマーカーは、競技役員から受け取ったテープのみの使用とする。

6 抗議について

- (1) 競技中に起きた競技者の行為、順位に関する抗議は、結果の発表後30分以内に、次のラウンドが行われる場合は15分以内に、本人または監督から審判長に対して口頭で申し出る。受付は庶務係(Cゲート・学校受付の場所)で行う。

7 表彰について

- (1) 1～8位の入賞者(チーム)を表彰する。各競技終了後ただちに正面玄関ロビーに集合する。

8 その他

- (1) 競技役員・補助員・選手以外は許可なく競技場内に入ることを禁止する。
- (2) 競技中に発生した傷害・疾病について、主催者は傷害保険に加入の範囲内および現場での応急処置以外の責任を一切負わない。
- (3) 貴重品・荷物等は、各自で管理し盗難にあわぬよう十分に注意すること。万一盗難にあった場合、主催者はその責任を負わない。なお、拾得物については庶務係(Cゲート・学校受付)で保管する。
- (4) **ゴミは、各自で自宅へ持ち帰る。**